

個別施設計画様式(参考)

策定年月日	R5.1.20
-------	---------

1 対象施設・施設概要					
施設情報					
施設名称	職員宿舎(原子力センター)	所管所属名称	環境放射線監視センター		
公共施設等総合管理方針施設分類					
大分類	公用施設	中分類	職員住宅	小分類	知事部局職員宿舎
主要建物概要					
構造	鉄骨鉄筋コンクリート	用途	職員宿舎	建築日	1994/12/20
経過年数	29年	耐用年数	47	目標使用年数	62
運営方式	直営	管理者名称	原子力安全対策課	全延床面積(㎡)	209
所在地	牡鹿郡女川町浦宿浜字門前47-7				
2 計画期間					
計画期間は令和4年から令和11年までの7年間とする					
3 点検・診断によって得られた個別施設の状況					
別添「県有建築物保全点検結果報告書」のとおり					
4 当該施設の必要性					
設置根拠規定等	—		必要性の有無	無	
業務内容	原子力センター(現:環境放射線監視センター)にて業務に従事する者の宿舎				
必要性の判断理由	震災前までは、女川町にあった原子力センターにて業務に従事する職員の宿舎として利用されていたが、震災後、旧消防学校を借用し、原子力センターとして機能することとなり、平成27年度に環境放射線監視センターとして仙台市宮城野区幸町に移転したため、職員宿舎の利用の必要性がなくなったもの。				
5 施設ごとの今後の対策					
管理に関する基本的な考え方を踏まえた施設の管理方針	震災以降平成30年まで女川町へ貸し出していたが、平成31年から今日に至るまで使用されていないもの。 施設の今後の使用予定はなく、施設の改修も行われていないが、敷地が民家等と隣接しているため、施設のみでなく雑草等の除去等の敷地内の適切な維持管理に努める。 今後の方針として、過去に女川町へ貸し出した実績があるため、県機関及び女川町等の市町村機関へ利活用希望を調査し、施設の貸付等を検討する。 また、5年近く使用されておらず、改修も行われていない施設のため、施設の耐用年数よりもはやく施設の寿命がくることが想定されるため、解体も検討していくもの。				
施設間・対策間の優先順位の判断内容	平成30年まで女川町へ貸し出ししていたが、平成31年以降使用されていなく、今後の使用予定もない施設である。 平成31年から令和4年に至るまで敷地内の草木の伐採等の管理は行っていたが、外壁、内装等の施設の改修は行われていない。 女川町へ貸し出した実績があるため、県機関、市町村機関への貸し出し等を検討しているが、保全点検結果にて階段のひび割れ、タイル破損、天井吹付材の剥離等が指摘があった。 また、給水管や排水管についても、これまで一度も改修が行われていないことと5年近く使用していないことから劣化が進行し、寿命が近いと推定される。 貸し出し等を行う場合、外壁、内装のみでなく、給水管等も含め大規模改修の必要があり、膨大なコストを要することが想定される。そのため、今後の使用の可能性を鑑み、3年程度を目途に解体も含め施設の管理方針を検討する。				
6 対策内容、時期及び概算費用					
別添「短期保全計画表」のとおり					
7 財源内訳					
一般財源					

施設情報詳細(棟情報一覧)

棟 番号	中長期保全計画 対象区分		建物名称	財産区分 (選択)	取得年月日	建築年月日	建面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数 (地上)	階数 (地下)	建物用途 (選択)	建物構造 (選択)	耐用 年数 (自動判 定)	経過 年数	点検区分 (選択)
	1500㎡ 以上	防災拠点													
1			職員宿舎	普通財産	1994/12/20	1994/12/20	165.39	208.85	2		住宅	鉄筋コンクリート	47年	29年	保全点検
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															

165.39 208.85